

第13回日本ファンドレイジング大賞

説明会

認定NPO法人日本ファンドレイジング協会

2022年12月9日

※本説明会の様子を録画し、WEBサイト上で公開しますので、予めご了承下さい。

日本ファンドレイジング大賞について

認定NPO法人日本ファンドレイジング協会は、人々に感動と笑顔を与えたファンドレイジングを行った団体を「日本ファンドレイジング大賞」として2010年より顕彰してまいりました。

本賞を通じて、ファンドレイジングの成功事例を明らかにすることにより日本全国に新しい寄付文化を生み出していく一助としていただいています。

説明会 | 進め方

事前の質問事項

Q.他薦の場合、自身が所属している団体とは違うエリア、同じような活動内容でなくても他薦できるのでしょうか？

Q.受賞により、その団体の活動事例がどのように他団体へと広がっていったか、具体的エピソードを教えてくださいと嬉しいです。

12:15-12:35

- 今回のポイント
- これまでの受賞団体ふりかえり
- 応募フォームの内容
- 募集要項

12:35-12:45

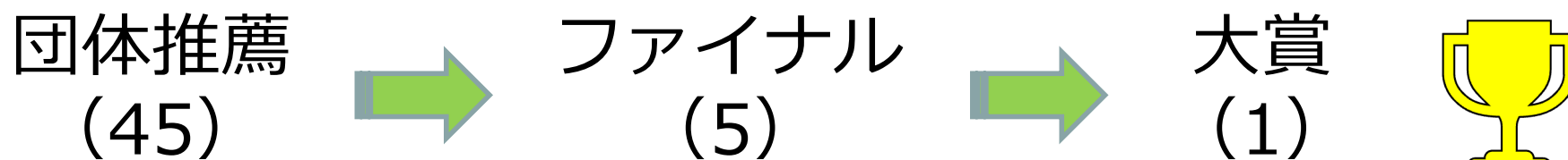
- 質疑応答（チャットで質問お受けします）

今回のポイント

新たに入賞5枠を設けました！

選考委員会による書類選考で予選を通過したファイナリスト5団体を「入賞」として表彰します。入賞団体には副賞が贈られます。

【これまで】



【今回】



表彰内容

【大賞団体】FRJ2023のクロージングセッション（2023年2月19日）での賞状授与

<副賞>

- ・FRJ2024へ2名無料ご招待
- ・准認定ファンドレイザー必修研修へ5名無料ご招待（75,000円相当）
- ・FRJ2023クロージングセッションでのご紹介
- ・FRJ2024大賞受賞記念セッションへの登壇
- ・日本ファンドレイジング協会のオウンドメディアでのご紹介

【入賞団体】賞状授与

<副賞>

- ・FRJ2024へ1名無料ご招待
- ・FRJ2023クロージングセッションでのご紹介
- ・日本ファンドレイジング協会のオウンドメディアでのご紹介

【特別賞団体】賞状授与

<副賞>

- ・FRJ2023クロージングセッションでのご紹介
- ・日本ファンドレイジング協会のオウンドメディアでのご紹介

クロージングセッション翌日（2月20日）にプレスリリース

これまでの受賞団体ふりかえり

【第12回日本ファンドレイジング大賞】
一般社団法人北長瀬エリアマネジメント

＜受賞理由＞

生活困窮者がいつでも食料品や日用品の支援を受けられる「コミュニティフリッジ」という仕組みを日本で初めて作り、ICT を活用して、支援者や企業と利用者双方の利便性を追求した取組は全国に広がりつつあり、他団体の模範となっている。



【第11回日本ファンドレイジング大賞】
公益財団法人佐賀未来創造基金

＜受賞理由＞

ファンドレイジングを通じて地域課題を包摂的に解決するコレクティブインパクト事業を創出し、九州全土へ拡大することにより、日本の寄付文化醸成に寄与したとして評価された。



【新型コロナウイルス支援大賞】

認定NPO法人抱撲

認定NPO法人抱撲は、コロナ禍で仕事と住まいを失った人を支援すべく、クラウドファンディングで1億円以上の寄付を集め、また他団体と連携し、その取り組みを全国に展開した。

【第10回日本ファンドレイジング大賞】
公益財団法人みんなでつくる財団おかやま

＜受賞理由＞

地域の団体で災害支援におけるファンドレイジングの成功事例を作った。

応募フォームの内容

応募フォームの内容

- 自薦／他薦
 - 推薦団体名
 - 推薦団体ホームページ
 - 団体メールアドレス
 - 推薦基準（複数選択可）
 - 先駆的なファンドレイジングの手法によるもの
 - 広く一般の共感を得たもの
 - 寄付にあたって人々を感動させたエピソードがあるもの
 - ファンドレイジングが、寄付者と団体と受益者に幸福の連鎖を生み出したもの
 - 推薦理由(400字まで)
 - 社会的インパクト(400字まで)
- ファンドレイジングの概要、実績、社会的な影響等について
- 有資格者の有無

第13回日本ファンドレイジング大賞

募集要項

募集対象	<p>2022年11月30日までに、NPO（法人格は問わない）としてファンドレイジングを行った団体・事業所で、日本国内に拠点をもっている団体・事業所</p> <p>※直近1年程度のファンドレイジング活動を対象といたします</p> <p>※下記の例も、募集対象に含みます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業がNPOのために行った寄付キャンペーン ・NPOが自治体と連携したファンドレイジング ・立ち上げたばかりのNPOのファンドレイジング活動
募集期間	2022年12月20日(火) 23時59分まで
応募方法	<p>自薦・他薦を問いません。下記、フォームからの受付のみになります。</p> <p>【第13回日本ファンドレイジング大賞 応募フォーム】</p> <p>こちらの応募フォーム(Googleフォーム)からお申込ください</p> <p>※他薦の場合は、事前に当該推薦団体の了承をご確認ください。</p>

表彰内容	<p>【大賞団体】 FRJ2023のクロージングセッション（2023年2月19日）での賞状授与 ＜副賞＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・FRJ2024へ2名無料ご招待 ・准認定ファンドレイザー必修研修へ5名無料ご招待（75,000円相当） ・FRJ2023クロージングセッションでのご紹介 ・FRJ2024大賞受賞記念セッションへの登壇 ・日本ファンドレイジング協会のオウンドメディアでのご紹介 <p>【入賞団体】 賞状授与 ＜副賞＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・FRJ2024へ1名無料ご招待 ・FRJ2023クロージングセッションでのご紹介 ・日本ファンドレイジング協会のオウンドメディアでのご紹介
選考方法	<p>予選：選考委員会による書類選考 本選：認定・准認定ファンドレイザーのウェブ投票による選考</p>
選考基準	<p>選考に当たっては、以下の視点で審査いたします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・先駆的なファンドレイジングの手法によるもの ・広く一般の共感を得たもの ・寄付にあたって人々を感動させたエピソードがあるもの ・ファンドレイジングが、寄付者と団体と受益者に幸福の連鎖を生みだしたもの 等

選考委員会

選考委員会（敬称略）



公益財団法人非営利組織評価センター
業務執行理事 山田 泰久



特定非営利活動法人岡山NPOセンター
代表理事 石原 達也



株式会社ファンドレックス
パートナー 相澤 順也



認定特定非営利活動法人ピースウィンズ・ジャパン
空飛ぶ捜索医療団“ARROWS”
プロジェクトリーダー 稲葉 基高



一般社団法人日本自動車連盟（JAF）
経営企画課長
／認定NPO法人キーパーソン21理事
安井 章員



認定特定非営利活動法人
日本ファンドレイジング協会
常務理事 鴨崎 貴泰



認定特定非営利活動法人
日本ファンドレイジング協会
事務局長 小川 愛

説明会でいただいた質問への回答

説明会でいただいた質問（1）

<p>Q：他薦の場合、自身が所属している団体とは違うエリア、同じような活動内容でなくても他薦できるのでしょうか？</p>	<p>A：できます。他薦の場合は、事前に当該推薦団体の了承を得てください。</p>
<p>Q：エントリーするか迷っています。参加することに意義がある！と考えて良いのでしょうか。</p>	<p>A：はい、もちろんです。団体規模の大小や寄付額の大小にかかわらず、柔軟に考えていただきご推薦ください。</p>
<p>Q：自薦と他薦等が重複した場合はどうなりますか？</p>	<p>A：同一団体が複数の推薦を受けた場合は、1団体としてまとめ、複数の推薦があるということを記載し審査します。</p>
<p>Q：11月末までのファンドレイジングとなっていますが、例えば12月にスタートしたプロジェクトで、その前に事前の説明会やキックオフなどを行っているのですが、そういった場合は11月末までになるのか、それとも12月からになりますか？</p>	<p>A：ファンドレイジング活動の期間について、11月30日まで、直近1年程度を対象としています。その活動期間の捉え方は、推薦される方のお考えに沿っていただいて構いません。</p>

説明会でいただいた質問（2）

Q:受賞により、その団体の活動事例がどのように他団体へと広がっていったか、具体的エピソードを教えてください。

A：（公益財団法人佐賀未来創造基金 山田様から）
受賞いただいたことで、ファンドレイザーの皆さんはじめ、コミュニティ財団やソーシャルセクターの様々な方々からお祝いの言葉をいただくとともに、地域での佐賀未来創造基金の活動やコミュニティ財団としての価値についてお声がけいただいたり、対話をする機会が増えて私たちをご理解いただく貴重な機会になりました。

また、受賞をきっかけにコミュニティ財団をはじめ、ソーシャルセクターの方々への講演や事例発表の機会を、以前よりも多くご依頼いただくようになりました。

そして、内容はファンドレイジングだけにとどまらずコミュニティ財団や佐賀でのコレクティブインパクト型の活動事例などについて幅広く私たちの活動内容を知っていただく機会になっています。貴重な機会をいただき誠にありがとうございました。

多くの団体様のご応募をお待ちしております